

with/post COROCAVIRUS ー with/post コロナ時代を生き抜くには ー

- A.全体認識視点 : 新型コロナウイルスによる世界の変化
- B.個人&組織(会社)視点 : パラダイムシフト、ライフシフトを考える
- C.テクノ未来塾視点 : ポストコロナ時代に求められる新たなNPO

2020年5月4日(月)

日本特殊陶業株式会社

イノベーション推進本部

戦略マーケティング部

営業マーケティング課

(東京駐社)

新型コロナウイルス禍:現状を概観する

①コロナ禍から学ぶ⇒パンデミックの世界観

- 野生動物から人に感染+瞬く間に世界中に拡散する(今後、更に**頻発&重篤**)
- 自然破壊/異常気象増加/人口爆発⇒自然と人間の接近(**際が曖昧**)
- 高速かつ大量な移動手段の発達~人を媒体とする**感染の規模拡大&加速**

②コロナ禍のPain

貨幣、ノブ、トイレ、新聞・書籍...etc.迄

- 人との**濃厚接触感染**リスク⇒人と触れる恐怖、家族友人巻き込む、医療関係者
- 潜伏、感染検査漏れ...感染・発病のリスクが見えない(**疑心暗鬼**)

③コロナ禍のGain

- 感染しない/発病しない/治癒する=待たれる**検査法・治療法・特効薬**の開発
- 人の活動抑制...**家族の時間、ワークライフ近接、地域/クラスター経済見直し**
- IT活用テレワーク、時間効率化...**通勤不要、出張不要、都市集中不要**
- 物流エネルギー削減...**化石燃料使用削減、CO2排出量削減、渋滞緩和**

③コロナ禍における変化の兆し(例)

- **IT革命&働き方改革**...妨害要因が取り除かれ急拡大(やれば楽、もう戻れない)
- **モビリティの見直し**...レンタルやシェアより**期間リース需要**、公共より**パーソナル**

with コロナ...ロックアウトからの復旧時に必要

NTK Confidential

(近視眼的な姿)

- 十分な量&質のマスク、殺菌／消毒が供給される...治療法は未だ
- 外出制限、人と触れ合うスキンシップ制限は簡単には解消しない
(当面はパンデミックのリスクが残る...集団免疫を獲得できないと)
- 買い物や人の集まる場所では十分な防疫措置が行われる
- 人の移動は減少(在宅勤務増／出張減)、モノが動く(物流依存大)
- 娯楽をどこに求めるか? ...短期的には以前と同じ(旅行、スポーツ、ギャンブル、宴会など)か? でも徐々に価値観は変化するだろう

(治療薬やワクチンが出来たら)

- 致死リスクが下がり、ウイルスと共存(抗体による発症抑える、発症しても治療と感染拡大を防止できる)
- 医療に頼って、元通りの生活を送ることも可能...だが、元には戻れない(この話は次項へ続く)

2020/5/4

日本特殊陶業株式会社

3

post コロナ...予想or望まれるパラダイムシフト

NTK Confidential

<感染症対応>

- 新たなパンデミックに備える検疫／隔離／医療施設の充実(スタッフ防護含む)
- 新たな感染症に対応するワクチン・治療薬を高速で開発～実用化
- 個人情報開示+国家間情報交換=データで感染リスクが見える世界に
- 野生動物／宿主と人間の接触を防ぐ(保護区、人の立ち入り制限、食肉制限)
- マスク、眼鏡、手袋、靴下など保護具常用+手洗い、消毒液...etc.接触感染防止マナーの恒常化

<ワーク&ライフの不可逆変化>

- i □ な経済リスク回避策(パンデミック時の迅速生産移転、一極集中回避)
- 地域クラスター対応(ロックアウト時に最低限の自立経済活動を可能に)
- 共用媒体⇒電子化(貨幣、書籍、新聞、書類...etc.)、使い捨て、自分専用に
- パートナーシップとスキンシップの分離:スキンシップは特定個人間(恋人、親子、家族...etc.)だけに
- IoTとVR/ARを駆使して遠隔コミュニケーション／リモートワークが実現する
- パートナーシップとして重要な商取引、教育なども会わないで済ませられる
- それでも会う...意義、重要性を印象付ける(直接面会／面談のプレミアム化)

2020/5/4

日本特殊陶業株式会社

4

<ライフワークバランス変化>

- 在宅学習
 - ...初等中等教育のうち人間性・コミュニケーション部分は対面が必要？
 - ...高等教育は日本中／世界中から選んで、自宅で学べる時代に
- 在宅勤務
 - ...出勤・出張は必要最低限に(移動負荷減る)＝ローカル／複数拠点居住
- 家庭～コミュニティ活動
 - ...在宅&地域滞在時間増加～役割分担&コミュニケーション重要に

<情報化社会の進展>

- 高速&大容量通信～AR/VR/MRのリアルタイム通信を実現(普及加速)
- 情報セキュリティ～信頼性のある情報共有及び守秘を実現(コスト負担)
- 匿名情報利用拡大(緊急時にはプライバシー情報利用可能)

<エッセンシャルワーク重視>

- 医療介護に加えライフライン(エネルギー、移動、水・食料・生活物資)公的保障

2020/5/4

日本特殊陶業株式会社

5

ポストコロナ時代の「NPOテクノ未来塾」活動案

- 組織 : 理事－会員－塾生(NPO法人組織) ここは変えられない
- 教育 : 塾生を啓蒙研鑽(テキスト、実践集) ここも変わらない？
- セミナー : 定期開催、時事に適した研鑽機会 オンライン化？
- 専門ゼミ : テーマを決めて深く議論(時に合宿)
 - 時にオフライン／相互信頼が必要...その上でのオンライン活用か？
- プロジェクト : 定型(上記)外の期間／目的／人員限定のNPO活動
 - ここは目的に応じてオフライン／オンラインを使い分けて最適に運用
- サークル : 会員&塾生の自発活動(NPO枠を外れるもよし)
 - ここはオフライン／相互信頼が基本か？...その上でのオンライン活用
- 出版 : 教育プログラム／セミナー&ゼミ／プロジェクト成果
 - 無形資産⇒有形資産とする必要性が増大(ソフトウェアも含めて)
- 広報 : 会員&塾生の情報共有、外部情報発信
 - コミュニケーション機能の強化は必須、WEB上でできることは要対応

2020/5/4

日本特殊陶業株式会社

6